

エコアクション21 環境経営レポート

第55期分

【令和6年8月1日～令和7年7月31日】

2025年11月10日 発行



●地球を守る地域のリサイクルパートナー●

株式会社 三栄サービス

代表取締役 紺野 琢生

■目次

・ 基本理念、環境経営方針	1
・ 事業活動の概要	3
・ 処理フロー図	6
・ 環境経営目標	7
・ 主要な環境経営計画の内容	8
・ 環境活動への取り組み結果と評価	9
・ 環境関連法規への違反・訴訟等の有無	12
・ 代表者による評価と見直し	13
・ 環境管理責任者・担当者によるコメント	13












《 基本理念 》

『次世代に緑豊かな地球を継承するため、持続可能な資源循環型社会を形成する』

資源小国である日本の『もったいない』文化に端を発する再生資源リサイクルは、いまや地球規模の環境問題を解決するためのキーワードである。創業以来一貫して再生資源リサイクルを生業としてきた我々三栄サービスは、今後とも持続可能な資源循環型社会を形成する一翼を担っていくとともに、あらゆる側面で地球環境保護を目指し、全社を挙げて環境意識の高揚と、再生資源リサイクルに関する啓発を行っていく。加えて今期より『SDGsの17の国際目標のうち、以下の5つを三栄サービスの環境活動に取り入れることとする。



《 環境経営方針 》

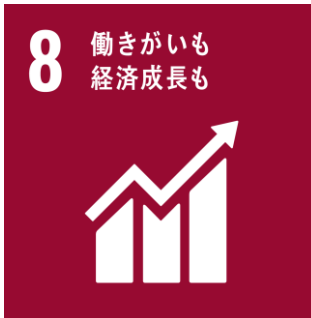
- 環境経営目的を定めてその目標を設置し定期的に見直し、環境保全活動の継続的な改善の取り組みに務める。
- 事業活動に伴う環境負荷の低減を図る。
 - 品質管理   
 - CO2の削減  
 - 節水  
 - グリーン購入の推進  
- 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域社会の生活環境保全に努める。
- 事業活動に関する適用可能な法規制等を順守する。
- 環境経営方針は文書化し、全従業員が周知し、実施できるよう環境教育を実施し、意識の向上を図る。
- 本方針を含め、環境経営システムの定期的な見直しと継続的改善に努める。

制定日 平成21年8月1日
改定日 第五版 平成30年8月1日
株式会社 三栄サービス
代表取締役 紺野 琢生

《三栄サービスの環境活動に取り込む5つのSDGs(持続可能な開発目標)》



三栄サービスの事業内容は「回収した古紙を原料にし、できるかぎりの再活用に努める」ことであり、資源リサイクル＝エネルギー使用量削減、という意味で事業内容そのものがこの目標と合致していると考えます。今後も引き続き、町に埋もれている資源がゴミになってしまう前に回収し、できるだけ再利用することでCO2削減につなげていく。



三栄サービスは『三つの繁栄』の経営理念、『お客さまの繁栄』『社員と家族の繁栄』『社会全体の繁栄』をもって会社の繁栄と為すの精神で事業を行っている。

この理念を全うすることで、社員の仕事への満足度と経済の発展の両立を目指していく。



ものが「ごみ」になってしまう前に、リサイクル・リユースルートに乗せて、できる限りの再利用に努めることがわたしたちの仕事である。ごみとして捨てられてしまう資源をいかに減らすか、排出者の方々に周知を図ることでつかう責任を果たす手助けをしていく。同時に、選別が徹底された高品質な原料を製紙会社に出荷することで、つくる責任も果たしていく。



気候変動の程度を小さくするためには、CO2排出量をできるだけ減らしていくことが重要になる。7.でも触れているが、資源リサイクルがゴミの削減につながるという意味で、リサイクルの輪をより広げていくことが、気候変動への対策になるので、今後も市民とのコミュニケーションなどにおいて、リサイクルの知識の周知を図っていく。



社会の問題がグローバル化して複雑になっていて、個々の問題に個別に対応しては解決が難しくなっている昨今、パートナーシップの活性化が重要になってくる。我々再生資源リサイクル業界には多くの団体があり、情報交換などのネットワークは構築されているので、今後は広域での事業連携ができるように工夫していく。また、回収作業やイベント等で市民の方と直接交流する機会も多いため、お客様と関連団体への連携につながる取り組みを社内より発信し、

地球を守るという目標達成につなげるように努める。

《 事業活動の概要 》

1. 商 号 株式会社 三栄サービス
2. 所 在 地
 東京都東村山市久米川町1-16-5
 電話042-391-5498 FAX042-391-5416
 ホームページアドレス <http://3a-s.jp>
3. 代 表 者 代表取締役 紺野 琢生
4. 設 立 昭和45年10月
5. 資 本 金 2,000万円
6. 事業規模

活動規模	単位	第55期 R6.8~R7.7	第54期 R5.8~R6.7	第53期 R4.8~R5.7
処 理 量	t	10,381	10,833	11,102
売 上 高	百万円	456	413	455
従 業 員	人	27	24	24
床 面 積	m ²	1,092	1,092	1,092

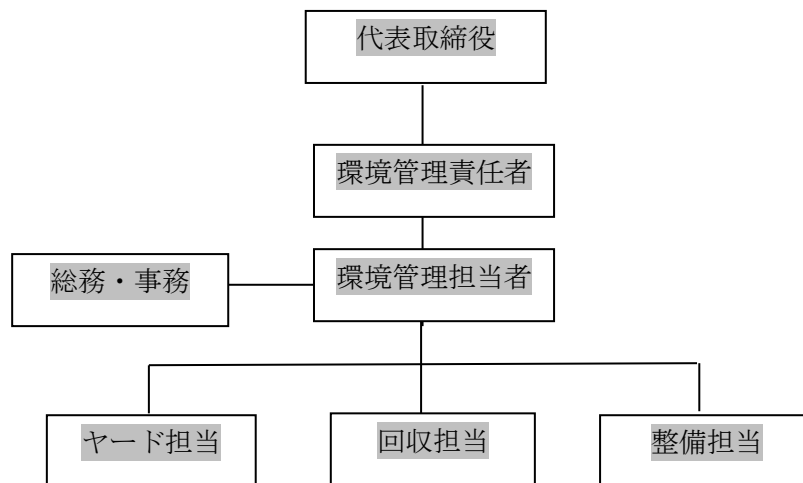
※産業廃棄物収集運搬実績（実績報告年度別）

実績報告年度		R6.8~R7.7	R5.8~R6.7	R4.8~R5.7
産業廃棄物収集運搬実績(t)	木くず	5.05	2.3	0
	廃プラスチック	15.02	15.16	8.64
	計	20.07	17.46	8.64

追記：古紙収集運搬料・・・4,149 t

7. 環境管理責任者
 ・環境管理責任者 氏 名 木村 秀昭
 電 話 042-391-5498

8. 組織図



代表取締役

- ・ 基本理念・環境方針の策定
- ・ 課題とチャンスの明確化
- ・ 環境への取組に必要な資源の提供
- ・ 全体の評価と見直し・指示

環境管理責任者

- ・ 環境活動目標・環境活動計画の策定
- ・ 環境経営システム全体の構築・運用、維持と代表者への報告

環境管理担当者

- ・ 実際の環境活動の指揮
- ・ 環境負荷の計測・記録・報告
- ・ 継続的な改善に向けた提案

社員一丸となって廃棄物発生抑制・再資源化の推進・燃料・電力の消費削減に取り組む

9. 事業内容

(1) 各種許認可等

許認可	区域	許可・登録番号	許可・登録年月日	有効年月日
産業廃棄物収集運搬業	東京都	13-00-018088	令和元年6月28日	令和11年6月9日
産業廃棄物収集運搬業	埼玉県	01102018088	令和元年6月7日	令和11年5月16日
廃棄物再生事業者登録	東京都	第62号	平成5年5月18日	—
一般貨物自動車運送事業	—	関自貨第1077号	平成15年4月16日	—
古物商許可	東京都	308911308115号	平成25年8月12日	—
日資連再生資源回収事業者認定	—	N13K-00148号	令和5年11月18日	令和8年11月1日
全原連古紙商品化適格事業所認定	—	C-01-052-01号	令和5年4月1日	令和8年3月31日

(2) 免許・有資格者等

中型（8ト限定）	25名	小型車両系建設機械	9名	安全衛生推進者	2名
車両系建設機械	2名	運行管理者	4名	安全運転管理者	1名
ショベルローダー	2名	整備管理者	2名	環境カウンセラー	1名
フォークリフト	17名	一般計量主任者	2名	古紙リサイクルアドバイザー	4名

(3) 取扱品目

種別	取り扱い品目	許可区域
産業廃棄物	紙くず、繊維くず、金属くず、廃プラスチックくず、木くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、廃油、汚泥、水銀	東京都 埼玉県
再生資源物	古紙類・金属類・古繊維類	

(4) 保有車両・設備

	車両・設備	積載量・能力	台数	動力
設備	古紙プレス機	150馬力	1台	電気
	トラックスケール	20トン台貫	1台	電気
車両	3.5トトラック	3,500kg	1台	軽油
	3トダブルキャビントラック	1,750kg	1台	軽油
	2トトラック	2,000kg	8台	軽油
	3.5トパッカー	2,850kg (5.9m ³)	1台	軽油
	2トパッカー	2,000kg (5.5m ³)	3台	軽油
重機類	3トパッカー	2,350kg (5.3m ³)	1台	軽油
	3トクランプリフト	3,000kg	1台	電気
	2.5トフォークリフト	2,300kg	1台	電気
	2トフォークリフト	2,000kg	1台	ガソリン

10. 廃棄物処分料金・再生資源物買取料金（引き取り手数料）

料金表による。当社へお問い合わせ下さい。 042-391-5498

■ 3トンプッカー



■ 2トントラック



■ 2.5トンフォークリフト(電気)

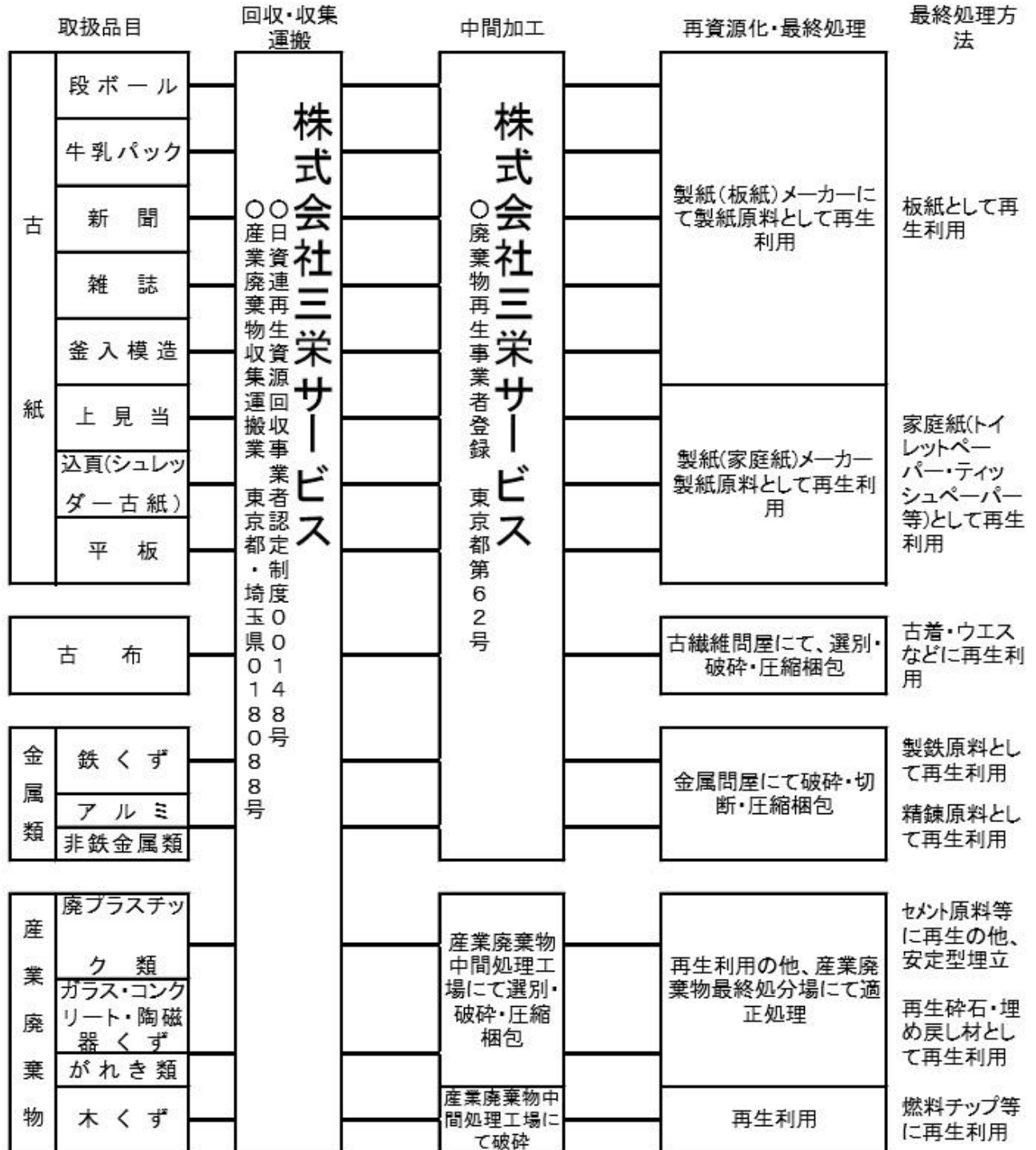


■ 古紙プレス機



《 処理フロー図 》

(株)三栄サービス リサイクル・廃棄物処理フロー図



《 環 境 経 営 目 標 》

大項目	項目名	第54期 (R5.8~R6.7) 基準値	第55期 (R6.8~R7.7) 目 標	第55~57期 (~R8.7) 中長期目標
品質管理	廃棄物の回収漏れ件数の削減	廃棄物の回収漏れ件数 189件	基準値(第54期) 廃棄物の回収漏れ件数189件に対して、 150件以内	基準値(第54期) 廃棄物の回収漏れ件数189件に対して、 150件以内
CO2削減	CO2排出量の削減	103,146.27 Kg-CO2 ※令和5年度日本テクノ(株)実排出係数 0.412kg-CO2/kwhを使用	基準値(54期) 103,146.27 Kg-CO2 に対して10%削減	基準値(54期) 103,146.27 Kg-CO2 に対して10%削減
	ガソリン・軽油使用量の削減	月平均使用量 軽油(車両1台あたり) 1,949.8ℓ/台 ガソリン 94.2ℓ	基準値(54期) 月平均使用料軽油(車両1台あたり) 1,949.8ℓ/台 ガソリン94.2ℓに 対して10%削減	基準値(54期) 月平均使用料軽油(車両1台あたり)1,949.8ℓ/台 ガソリン94.2ℓに対して 10%削減
	電力使用量の削減	月平均使用量 8,028kwh	基準値(54期) 月平均使用料 8,028kwhに 対して10%削減	基準値(54期) 月平均使用料 8,028kwhに 対して10%削減
節水	水使用量の削減	月平均使用量 14.6m ³	基準値(54期) 月平均使用量 14.6m ³ に 対して10%削減	基準値(54期) 月平均使用量 14.6m ³ に 対して10%削減
グリーン購入	備品・消耗品購入時のグリーン購入	備品・消耗品の購入時に環境にやさしい製品を優先購入する。	備品・消耗品購入チェックリストを作成し、環境にやさしい製品かどうかのチェックを行い、グリーン購入の推進に努める。	
外部コミュニケーション	市民や客先への環境啓発活動	各市イベント参加、職場体験・工場見学受け入れ	各市リサイクルイベントへの参加や、職場体験学習、工場見学などの受け入れを通じた市民への環境啓発活動や、客先への分別指導に努める。積極的な情報発信に努める。	
環境教育	社員の環境意識の向上	社内研修1回 緊急訓練2回	環境意識の向上や分別指導を目的とした社内研修を定期的実施する。	

《 主要な環境経営計画の内容 》

大項目	環境目標	環境活動計画の内容
品質管理	廃棄物の回収漏れ件数の削減	<ul style="list-style-type: none"> 回収漏れ件数の把握 回収漏れ情報の共有 ドライバー教育の徹底 班ミーティングによる回収マニュアルの周知
CO2削減	ガソリン・軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ手順の作成に則り、行政回収や事業所等からの収集運搬に取組み行う エコドライブ手順に従い、エコドライブ10ヶ条の実施 自社トラック・パッカー車等の軽油・ガソリン使用量・燃費の把握 行政回収及び事業所等の回収の効率化の実施。エコドライブの推進に心掛ける 低燃費車への切替
	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 電力使用量の把握 省エネ手順の作成に則り、機械及び事務所使用の節電に取組み行う 省エネ器具の設置及び省エネ機器への切り替え
節水	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 水道使用量の把握 節水手順の作成に則り、機械及び事務所使用の節水に取組み行う
グリーン購入	備品・消耗品購入時のグリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> グリーン購入推進の徹底 消耗品購入チェックシートの作成
外部コミュニケーション	市民や客先への環境啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験やヤード見学等の積極的な受け入れ クレーム等への迅速な対応 リサイクル情報の発信
環境教育	社員の環境意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 社員研修会の実施 緊急訓練の実施

《 環境経営への取り組み結果と評価 》

(1) 環境活動への取り組み結果

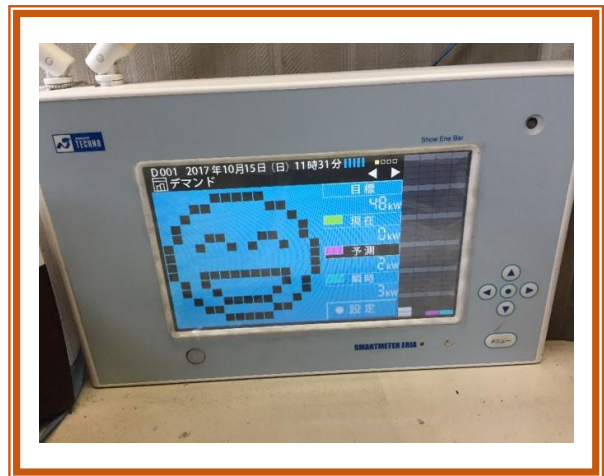
環境目標		第54期 基準値	第55期 目標	第55期 実績 (令和6.8月～令和7.7月)	達成度
品質 管理	廃棄物の回収漏れ件数の削減	廃棄物の回収漏れ件数189件	廃棄物の回収漏れ件数150件	廃棄物の回収漏れ件数 135件	○
CO2削減	CO2排出量の削減	103,146.27 kg-CO2 ※令和5年度日本テノ(株)実排出係数(0.412kg-CO2/kwh)を使用	基準値(54期) 103,146.27 kg-CO2 に対して 10%削減	排出量 97,492.04 kg-CO2 (5.4%減)	△
	ガソリン・軽油使用量の削減	月平均使用量 軽油 1,949.8 l/台 ガソリン 94.2l	基準値(54期) 月平均使用料軽油(車両1台あたり) 1,949.8l/台 ガソリン 94.2lに 対して10%削減	月平均使用量 軽油 1,876.2l(3.9%減) ガソリン 113.3l(20.3%増)	軽油△ ガソリン×
	電力使用量の削減	月平均使用量 8,028 kWh	基準値(54期) 月平均使用料 8,028 kWhに 対して10%削減	月平均使用量 7,297 kWh (9.1%減)	△
節水	水使用量の削減	月平均使用量 14.6 m ³	基準値(54期) 月平均使用量 14.6 m ³ に 対して10%削減	月平均使用量 14.7 m ³ (0.5%増)	△
グリーン購入	備品・消耗品のグリーン購入	備品・消耗品の購入時に環境にやさしい製品を優先購入する。		環境にやさしい製品の優先購入を呼び掛けた。	○
外部コミュニケーション	市民や客先への環境啓発活動	各市イベント参加、職場体験・工場見学受け入れ		東村山市他各市のリサイクルイベントに参加。 広報誌『三栄です』の発行(ホームページに更新)	○
環境教育	社員の環境意識の向上	社内研修2回 緊急訓練1回		社員研修会・緊急訓練の実施 組合安全講習会への参加 協力業者会による安全・環境推進の研修会の開催	○

※評価の凡例○：目標達成 △：目標未達であるが様子を見る(達成率100%未満～90%) ×：要是正措置(達成率90%未満)

(2) 取り組み結果の分析

環境目標		取り組み結果の評価	見直し
品質管理	廃棄物の回収漏れ件数の削減	目標の200件の約25%減らすことができた。	引き続き報告と社内での情報共有を徹底し、確実な回収への意識向上に努める。
CO2削減	ガソリン・軽油使用量の削減	引き続き取組を継続できた。ガソリンはフォークリフト買替時の代車で増えた。	エコドライブ10ヶ条の全従業員への再度周知、引き続き社員全員の意識を高める。
	電力使用量の削減	引き続き取組を継続できた。数値的には前年比約10%減らすことができた。	引き続き節電に努める。
節水	水使用量の削減	引き続き取組を継続できた。数値的には前年とほぼ同じになった。	引き続き節水に努める。
グリーン購入	備品・消耗品購入時のグリーン購入	環境にやさしい商品を購入した。	引き続き、環境にやさしい商品を購入する事を心がける。
外部コミュニケーション	市民や客先への環境啓発活動	各市のイベントや、職場体験に参加出来た。	各イベントを通じ市民への、環境啓発活動や分別指導、情報発信に努めていく。
環境教育	社員の環境意識の向上	定期的にも実施した社内研修により、環境意識の向上や、分別に対する意識が高まった。	社員による安全環境ミーティングや社内研修を実施し、意識向上に努めていく。

■ ガソリン使用量・電気使用量の削減への取り組み



■ 各市のイベントや職場見学、工場見学の様子



(3) 次年度の取り組みの内容

環境目標		取組内容
品質管理	廃棄物の回収漏れ件数の削減	引き続きグループミーティングの内容を充実させる。未回収を減らせるように人員配置などを工夫していく。
CO2削減	ガソリン・軽油使用量の削減	環境安全ミーティングでの、更なる意識喚起 エコドライブの推進強化 日常点検、整備の徹底。
	電力使用量の削減	引き続き、機械に負荷のかからない運転を心がけると共に、事務所を含め、無駄な電気を使わず、こまめに電源を抜くなど、更に節電に努める。
節水	水使用量の削減	引き続き、蛇口の開口を制限するなど、節水に努める。
グリーン購入	備品・消耗品購入時のグリーン購入	環境にやさしい商品を、積極的に購入する。物品購入リストのさらなる活用を図る。
外部コミュニケーション	市民や客先への環境啓発活動	資源回収時、回収員と客先のコミュニケーションをさらに深めていく。 イベントや見学受け入れの様子を広報誌等でアピールし、より拡充する。
環境教育	社員の環境意識の向上	引き続き、環境・安全推進委員会にて、スローガンの策定、唱和をし、指導教育をしていく。

《 環境関連法規への違反・訴訟等の有無 》

(1) 適用される主な法規制の遵守状況

法規制	チェック結果	状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	問題なし
各種リサイクル法	○	問題なし
その他関連法規・条例など	○	問題なし

○・・・問題なし △・・・問題は無いが改善の余地あり ×・・・違反あり

(2) 違反・訴訟など

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

《 代表者による評価と見直し 》

終わりの見えない国際紛争が世界各地で続いている中、燃料、原料の高騰が続き、アメリカではトランプ大統領による関税政策で輸出産業に大きな影響を及ぼすなど、世界経済は相変わらず混迷の一途を辿っている。国内では初の女性総理、高市内閣が誕生し、日中関係の悪化は懸念されるものの、積極財政の推進による国内景気の回復が期待されている。

私たちの取り扱っている金属類は高騰が続いているが、古紙、古着については輸出市況が弱含みとなっている。廃棄物全体的に発生が減少傾向にあり、売り上げを伸ばすのが難しい中、車両、設備、消耗品を始め、諸物価が軒並み高騰、人件費も高騰する中人材確保も難しい状況で、経営環境としては依然として厳しい状況にある。

当社としては、引き続きこの地域に密着し、地域に頼られ、人と環境に優しい会社作りを組合、社員、お客様とともにしてまいりたいと考えている。

AIや技術革新もさることながら、人が資本であり、人づくりが今後の会社の安定的な運営の根幹であるとの考え方の元、事故や怪我が続いたことについて原因と再発防止のための検証を行い、労働災害ゼロを目指し、安全かつ環境にやさしい経営を柱に環境負荷の低減のための取り組みを進めていきたい。

令和7年12月31日

株式会社 三栄サービス
代表取締役 紺野 琢生

《 環境管理責任者・担当者によるコメント 》

私たちは、常に古紙を運ぶだけでなく、資源を運び、それを再生させるという自覚を持って日々業務に取り組んでいます。

ドライバーへは、効率の良い作業とアイドリングストップなどを徹底して、燃費の向上とCO2削減につながる運転を心がけるように呼びかけています。

構内の選別作業では、自分たちで再生紙の品質を守るという誇りを持ち、禁忌品やゴミ等の除去に細部までこだわっています。

こうしたことの積み重ねが、お客様との信頼や地域貢献につながると考えています。

これからも持続可能な社会の実現へ向けて努力していきたいと思えます。

令和7年10月15日

株式会社 三栄サービス

環境管理責任者

次長 木村 秀昭